

英書多読ガイド

別ページ「これまでの日本の英語教育の問題点」をふまえ、本教室では「学びの3つの柱」で紹介した方法で学びを進めていきますが、ここでは英語の本を多読する学習方法とそのサポートを説明します。

英語圏で最古の大学で、各種の大学ランキング（教育力部門も含む）で世界第1位に選ばれているオックスフォード大学は、コロナ禍による学びの機会の制限と、デジタル教育の発展・普及を背景として、2022年から、英語学習の多読教材読み放題プラン、Oxford Reading Club（略称 ORC）を、個人向けにもスタートさせました（月額990円）。

<https://kyodonewsprwire.jp/release/202203017973>

レベル別に分けられた英語多読教材は、他の出版社も出していますが、ORCの良さは

- ★ 長年グローバルに使われてきた英語学習のスタンダードであること
- ★ 幼児～生徒むけの英語学習だけでなく、中高生の他教科の学習にも活用でき、大人の学習者も楽しめる、本としての質の高さがあること
- ★ スタンダードであるために、個人むけ読み放題プランが低価格で可能になったこと

などがあります（辞書機能などの使いやすさは、まだまだですが）。

必要な期間だけ定額で利用し、スキマ時間を見つけてスマホからでも、読み上げ音声を聴きながら読書し、発音をチェックしたり問題を解いたりして、英語で考える習慣をつけられます。

ORCには13のブックシリーズが入っており、そのシリーズ内でもレベル別に分けられています。かつては紙の本で1シリーズ買いそろえるだけでも10万円以上かかり、音声もCD再生などで手間がかかっていたことからすれば、画期的な便利さです！

合計1000冊以上あり、2週間の無料体験（読める本は制限付き）ができますが、どれから読みはじめるか迷うでしょうから、参考までにお勧めと、3段階のステップアップの方法を紹介します。

https://drive.google.com/file/d/1grKBfZieU95-gmqRnJBA47C7VZOyUDJk/view?usp=share_link

① 訳さずに読む〈英語脳〉をそだてる

まずはログインしてレベルチェックテストをしましょう。幼児や小学生の児童は、このテスト結果で出てくるおすすめにしたがって、子どもむけの絵本から始めるのがよいでしょう。英米のネイティブの学び方と一緒にです。幼児・児童のORCの利用例は、つぎのサイトなどが参考になります。

<https://kodomotoeigo.com/gsalibrary/>

しかし、あるていど日本の学校英語をまなんで、単語や文法の暗記がすんだ人たちには、絵本や童話は内容が幼すぎるので、別の方法の工夫が必要です。

おすすめは――

Happy Readers：面白くてためになるイラスト満載のストーリーブック 42冊

のレベル3～4あたり以上から、関心のある本を選んで読みはじめることです。ここで音声を聴き発音もしながら、英文を英語のまま考えて読む、いわゆる〈英語脳〉を自分の頭の中にそだてる練習をはじめてください。

日本語に訳したり置き換えたりしながら読んだら、日本語で理解し記憶してしまうのでダメです！ 英語をエンジンにして目や口、身ぶりも英語的に動く、英語の脳と体を、日本語で動く脳にプラスして、もう1つつくるイメージです（本に出てくる登場人物を自分で演じる感じ

で読み・発音するとよいでしょう)。つい日本語訳したくなる誘惑を、簡単な文章から乗り越えることがテーマの、特殊な読書だと考えてください。

本のつかい方は5ステップあり、ステップ1のウォームアップは単語練習で、もう知っているばあいは省略OK。ステップ2は絵を見ながら聴くだけなので、これもスキップOK。ステップ3は聴きながら読み、ステップ4は文の発音チェック、ステップ5はクイズで、これらはやってみましょう。

毎日の多読時間を30分～1時間とってもらえれば、1日1冊、聴きながら読むこと(ステップ3)ができるでしょう。1冊終わらせると達成感があり、励みになります。そして次の日かその日のうちにステップ4・5をクリアできるでしょう。その上で、次の日にでも**1回は自分で発音して読みとおす**と、〈英語脳〉を自分の頭にそだてることにつながります。

内容については、子どもむけのシリーズですが、最後のレベル6になると環境問題や障がい者を排除しないインクルーシブ教育、宇宙などをテーマにしたものもあり、大人が読んでも楽しいシリーズです。

また、

Read with Phinnie：イギリスの旧植民地香港の作家が参加し、アジアを意識した英語初学教材 58冊

も **Primary4**あたりからは、内容がよく、おすすめです。

この〈英語脳〉をそだてる練習を、上の2シリーズの他にも、もっと続けたいばあいは、

Oxford Reading Tree：イギリスの約8割の小学校で使われている「国語」デジタル教材 297冊

も、**レベル7**あたりからは内容の幼さが減るので、中高生・大人でも〈英語脳〉練習の材料に使えます。

② 他教科の学習もしたり、読書を楽しむ

つぎに文章の中身の知的レベルを上げていきましょう(ここからはページ数も増えるので、読み終えてから音読しなおさなくてもよく、また、何日かに分けて読んでいくのもよいでしょう)。

Oxford Read and Discover：英語学習を通じて他教科も学べるノンフィクション 58冊
CEFR:A1～B1

は、**中高生**にとくにおすすめ！ **理科・社会や副教科を英語で勉強**することになり、幅広い分野の単語を覚えることもでき、入試や英語能力試験対策にもなります。留学を目指す人にはよいでしょう。

とはいえ、中高生の教科書のように、基礎知識の暗記的な内容ともいえます。それではつまらない、もっと深い内容があるほうがいい**大学生・社会人**などは、**Oxford Read and Discover**ではなく――

Dominoes：充実したアクティビティと臨場感あふれるドラマ仕立てのオーディオが魅力のフルカラーのリーダーシリーズ 86冊 CEFR:A1～B1

に進むのがよいでしょう。映画やドラマのように、もっとも面白くつくられているシリーズで、気晴らしにもなります。**英語での読書を楽しみたい人**――ですから暗記勉強に疲れた**中高生**にも、もちろんおすすめです。

なお、本の英語レベルの選択は、**すこし難しいと感じるもの**にとりくむのが適切です。

※ 英語レベルは 1 冊ごとに CEFR（セファール：ヨーロッパ言語共通参照枠）で示されています。
CEFR の A1 は英検 3 級、B1 は準 1～2 級、C1 は 1 級でいどです。

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (2399)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2299)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (1949)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1728)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1456)	689 270 (270)					620 320

は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

https://drive.google.com/file/d/1hryL6v5lbb6JHq_TEpftH2BmGq9Zcxfi/view?usp=share_link

③ 古典文学やノンフィクションへ

そしてここまできたら――

Oxford Bookworms Library：現代フィクションから古典文学、ミステリー、ノンフィクション、世界各国の短編まで、様々なジャンルのストーリーを揃える良質なリーダーシリーズ 187 冊 CEFR:A1～C1+

に進みます。ORC のもっとも充実したコンテンツで、ここでレベルを上げていってクリアしたら、もうふつうの英書を楽しむところまできています。

対訳が見たいばあい

ORC の本には日本語訳はありません。*Dominoes* や *Bookworms* に進んで内容が複雑だったり深くなったりしてきて、日本語訳を確認しながら慣れていきたいばあいは、*Dominoes* と *Bookworms* にはシャーロック・ホームズのシリーズが多く含まれており、ホームズ作品はすべて次のサイトで原文と対訳が横並びで読めるようになっているので、これを参照しながら読むとよいでしょう。

<https://freenglish.jp/holmes/>

※ ただし Oxford Reading Club での書名と原書のタイトルは違っていますので、事件に関する脇役の登場人物名でネット検索するなどして原書のタイトルを見つける必要があります。なお *Dominoes* の入門レベルにある「The Dying Detective」の原タイトルは「瀕死の探偵」、「The Top-Secret Plans」は「ブルースパーティントン設計書」で、ともに短編集『シャーロック・ホームズ最後の挨拶』に収録されています。

以上、**黄色のマーカー**をしたシリーズを読み進めていくのがおすすめですが、もちろん自分が読みたいものからでも自由に読んでくれればと思います。そうして英語で考える頭のつかい方が定着すれば、論理的思考を吸収し、異なる意見の人との討論を楽しむことも、しやくなります。そうすると、留学するのと同じように、論理的に考えてディスカッションする習慣を身

につけられ、さまざまな文化・宗教・考え方の人たちとグローバルに助けあっていく世界が開かれてくることでしょう。

毎日、短時間でも欠かさず続けることが大事です。

リーディング発表会

ORC のサイトでは、毎月の読書量・学習時間などをまとめた**マンスリーレポート**を確認することができ、PDFで発行することもできます。

なお、ORC は 1 アカウントにつき最大 2 台のデバイスを同時に登録可能で、ご家族で利用することもできます。そのばあい、読書量などのデータは 1 アカウントごとの合計になることにご留意ください。

英書多読はひとりでは続けにくく、また読むインプットだけでなくアウトプットもぜひ必要なので、ORC を利用されている方の都合のあう時期の月初めに、Zoom のミーティングを設定し、**リーディング発表会**を開催したいと思います。授業とは別で（授業料なし）、だれでも参加自由。前月に読んだ本でよかった 1 冊を選んで、「なぜ・どのように」よかったか 3 分ほどで発表し、読書体験を共有し、意見交換する機会にできたらと考えています。

お声かけいたしますので、ぜひ積極的に参加ください。